

## SY7-3

## 保育現場が抱える課題と保育施設向け総合 ICT サービス「ルクミー」について

土岐 泰之

ユニファ株式会社

ユニファ株式会社は、保育施設向け総合 ICT サービス「ルクミー」の企画、開発、販売、運営を行う“Child Care Tech”領域のスタートアップです。2013年に名古屋で創業し、今年で10年目を迎えます。共働き世帯の増加や女性の就業率の上昇により、保育所等の利用率が上がり続けています。特に1-2歳児においては、50%を超えるなど、保育施設は「社会インフラ」と表現できるくらい、重要な役割を担っています。

一方で、「保育士不足」は積年の社会課題です。保育士の有効求人倍率は全職種平均の約2倍以上の水準感に加えて、“潜在保育士”と呼ばれる、保育士資格をもっている方のうち、保育士として働いていない方は約100万人と、有資格者の約60%を占めている状況です。

2018年にOECD（経済協力開発機構）が行った調査によると、日本の保育士は自宅への持ち帰り業務を含めた1週間の仕事時間が50.4時間（単純換算で1日10時間以上の労働）と、調査対象国の中で最も長時間働いていました。

保育士の仕事は子ども達との直接的な関わり以外に、登降園の対応、保育日誌や保育計画の作成、連絡帳の記入、お昼寝の見守り、園内の写真撮影業務等、実は非常に多岐にわたっています。そして、現状はそれらがほとんど手書きで行われるなどアナログな手法がまだまだ主流のため、余計に保育士の業務負担が高くなっているのです。

このような社会的課題を、ユニファはAIやIoT等の最新のテクノロジーで解決に貢献したいと考えています。2013年に「ルクミーフォト」という写真を軸に保育施設と家庭をつなぐサービスを立ちあげ、2018年には園児のお昼寝（午睡）を見守るサービスであるルクミー午睡チェックやデジタル連絡帳等、現在は合計で14のプロダクトを展開しています。

また、「スマート保育園・幼稚園・こども園」構想を掲げ、多岐にわたる保育関連業務を丸ごとDX（デジタル・トランスフォーメーション）することを通じて、保育者の方の時間と心のゆとりを創出し、子どもともっと向き合える環境作りを目指しています。

鹿児島県のとある院内保育園では、当社のルクミー導入前後で、連絡帳やお知らせの作成等の記録業務やシフト作成等に充てていた業務時間を月間で約50時間削減できています。必要な情報をタイムリーに伝えることができる、手書き業務の削減や書類の渡し忘れが減り、ペーパーレス化にもつながったなど様々な効果が出ています。

ぜひ病院の院内保育所でルクミーをご利用いただき、保育現場の負担軽減と保育の質の向上に役立てていただければ幸いです。

i 「保育所等関連状況取りまとめ（令和4年4月1日）」厚生労働省

ii 「保育を取り巻く現状について（令和3年5月26日）」厚生労働省

iii 「OECD 国際幼児教育・保育従事者調査 2018」